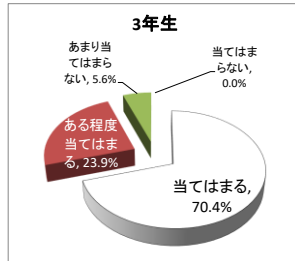
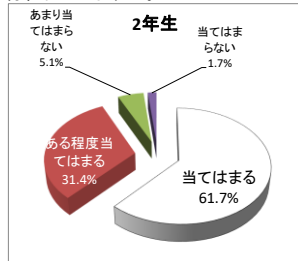
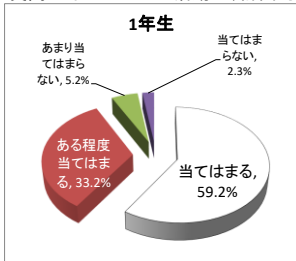


令和5年度第1回ホームルーム活動に関する調査 令和5年7月実施

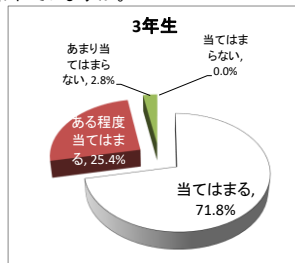
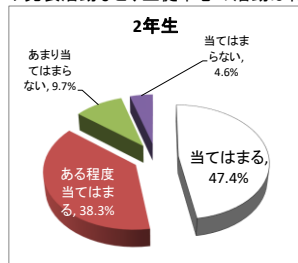
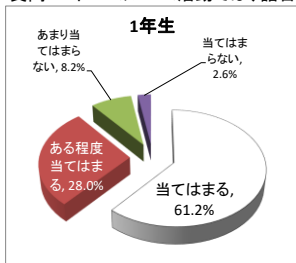
	1年生	2年生	3年生
回答数	343	175	71
回答率	94.5%	55.0%	22.3%

質問1 ホームルーム活動は、計画的に行われていますか。



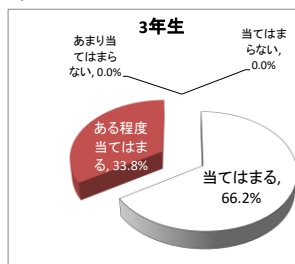
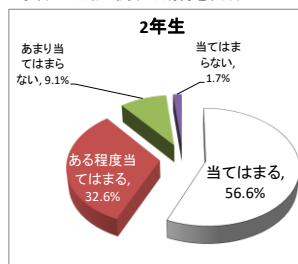
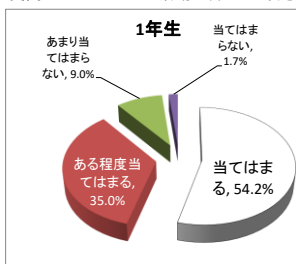
全体の傾向としては、学年進行とともに、「当てはまる」割合が高まっており、進学のと時期が迫るにしたがって、体育祭・都駒祭や修学旅行、保体科行事等話し合いに加えて、進路に係る内容が増加するためであると分析できます。しかしながら、2、3年生の協力が十分に得られなかったことから、データの信頼性を担保することはできませんでした。次回の調査では、2、3年生の協力を強く期待したいところです。1年生のデータの信頼性は十分に担保できたものと考えます。

質問2 ホームルーム活動では、話し合いや発表活動など、生徒中心の活動は行われていますか。



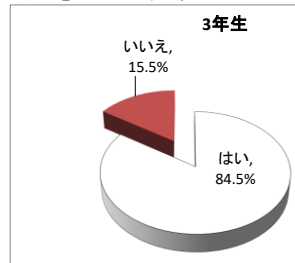
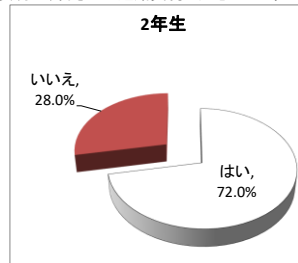
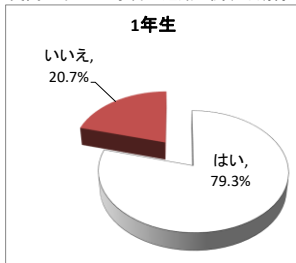
学年進行とともに生徒中心の活動は少なくなるのが一般的です。2年生の回答率は半数を上回っており、ある程度の信頼性があると仮定すれば、1年生から2年生にかけては、そうした一般的傾向を裏付けるものとなっています。一方、3年生の結果は一般的傾向と大きく異なっています。回答率が2割強ですので、駒場独自の傾向であるのかどうかの判断はつかないと考えます。今後の調査での2、3年生の協力を期待します。

質問3 ホームルーム活動で、先生は皆さんの学習や進路に関する期待を表明していますか。



一般的には学年進行とともに生徒に対する「期待」の表明の割合は高まります。回答率の低さを度外視すれば、その傾向と一致の結果となっています。期待の表明の仕方は、直接的なものだけではなく、生徒に寄り添い、道を示す先生方の熱意を反映します。その意味で、HR活動に関する調査では最も重要な項目です。次回調査では、2、3年生の回答率が高まり、調査結果の信頼性も向上することを期待します。

質問4 先生の学習や進路に関する期待の表明が、皆さんの進路実現に大きくかかわっていることを知っていますか。



回答率を度外視すれば、この結果は驚くべきものです。これほど多くの生徒が、先生方の期待の表明と進路実現が関わっていることを理解しています。褒めて、励まして、教え導くことを先生方に求めている表れたと考えます。まさに伸びしろボーイズ、伸びしろガールズです。生徒の心に響く「期待」の表明を先生方に促していきたいと思えます。